

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 465

所管部局	農林商工部	所管課	商工観光課	担当者名	大谷 洋史
事業名	商工振興助成事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	商工振興助成事業			政策体系	362
会計	一般会計	科目	7.商工 - 1.商工 - 2.商工		

## 1. 事業の概要

商店街の現状を詳細に分析し、今後の商店街の振興策を計画立案するため、商工会が行う研究事業に対し支援する。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

交通網整備により、近隣の大規模店舗へのアクセスが向上し、個人商店、商店街離れが進んでおり、大型店舗及び市外への消費流出を防ぎ、商工振興施策に積極的な財政支援を行うことにより市内商店の活性化を図り、市内消費を向上させる。

### ②事業を実施する必要性

市内商店の活性化を図り、市内消費を向上を図る。

## 3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円	5,507	4,000	9,570	2,000	1,000	2,000	2,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,507	4,000	9,570	2,000	1,000	2,000	2,000
職員等の従事人員		人/年	—	—	0.39	0.24			
人件費		千円	—	—	2,597	1,598			
事業費総額		千円	—	—	12,167	3,598			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

商店街活性化研究等助成金	2,000,000円
--------------	------------

## 5. 事業結果の概要

八木の夜市開催、歳末売り出し、ほほ笑みくじの実施。

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 補助金		
市外への消費流出を防ぎ、商業振興施策に積極的な財政支援を行う。 商店街活性化研究等助成金 2,000,000円	申請による補助	市内商店の活性化、消費向上に寄与

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

商店街の現状を把握したうえで、大型店及び市外への消費流出を一定防ぐために必要な支援である。今後は、山陰本線(京都～園部間)複線化に伴い消費者の京阪神圏への流出を防ぐための新たな商工振興施策に対する支援が必要と考える。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
地元商店街の活性化及び消費拡大への取り組みについて議論した。
- ②当該事業のアピール事項  
商店街離れを食い止める施策として助成事業は必要であり活性化への一助とする。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
商工業者自らの活性化へ向けた自助努力も併せて必要と考える。